

世界のコメをめぐる事情(国別編)

中国におけるコメの生産状況

- 直近の生産量(見込値)は、1.49億トンと平年より微増の見通し。また、同年の消費量(見込値)は、1.52億トンと微減の見通し。
- 生産地は、華南、華中、華東を中心に、東北にも分布。華南ではインディカ種の二期作、東北ではジャポニカ種の一期作での栽培。

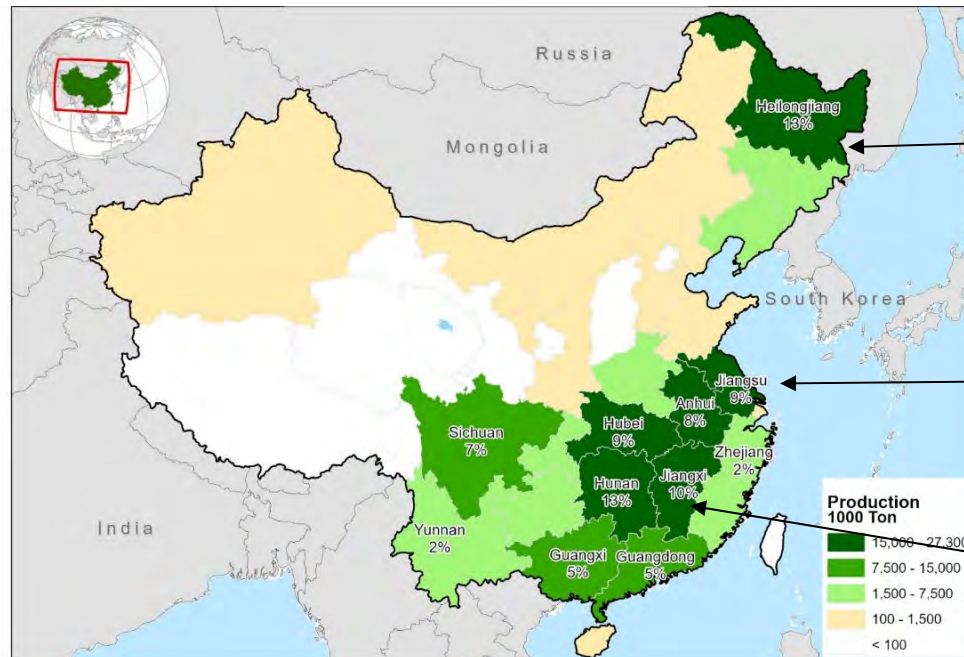
中国のコメ需給の動向推移

(単位:万トン)

	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
生産量	14,673	14,830	14,899	14,595	14,900
消費量	14,523	15,029	15,636	15,499	15,200

出典:USDA「PS&D(8月)」(穀物年度)

中国におけるコメの生産地



黒龍江省 2,263万トン
吉林省 544万トン
遼寧省 340万トン

中・短粒種を主に生産。

江蘇省 1,514万トン

中・短粒種を主に生産。

その他の地域

長粒種を主に生産。

出典(図) :USDA「National Agricultural Statistics Service」
出典(各地域の生産量):「海外食料需給レポート(2019年1月)」

注:各地域の生産量は2017年(玄米ベース)のデータ

インドにおけるコメの生産状況

- 直近の生産量(見込値)は、1.34億トンと昨年より微減の見通し。また、同年の消費量(見込値)は、1.14億トンと微増の見通し。
- 生産地は、インド洋沿岸を中心に、南インド、東インドから北インドにかけて分布。南部から東北地域では、インディカ種の二期作、北部地域では小麦との二毛作で栽培。

インドのコメ需給の動向推移

(単位:万トン)

	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
生産量	11,887	12,439	12,947	13,600	13,400
消費量	10,195	10,105	11,045	11,300	11,500

出典:USDA「PS&D(8月)」(穀物年度)

インドにおけるコメの生産地

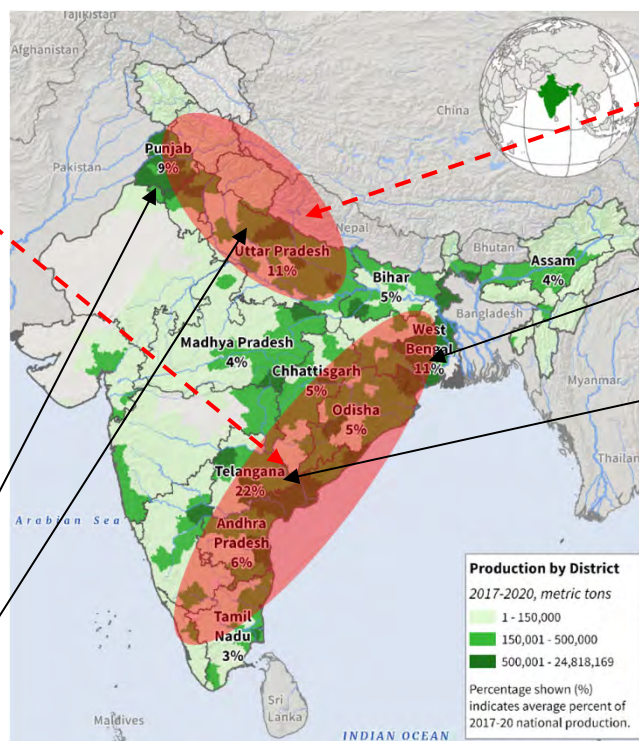
雨季にカリフ米と
乾季にラビ米を栽培。

※ カリフ米とラビ米の違いは、
播種の時期によるもの。米の
品種の違いによるものではない。

	播種	収穫
カリフ米	6月～8月	10月～1月
ラビ米	12月～1月	8～9月

パンジャブ州 9%

ウッタール・プラデーシュ州 11%



雨季にカリフ米と
乾季に小麦を栽培。

西ベンガル州 11%

テランガーナ州 22%

(参考)その他各州の生産量の割合

アーンドラ・プラデーシュ州	6%
チャティスガル州	5%
オディシャ州	5%
ビハール州	5%
アッサム州	4%
マディヤ・プラデーシュ州	4%
タミル・ナードゥ州	3%

ベトナムにおけるコメの生産状況

- 直近の生産量(見込値)は、2,700万トンと平年並みの見通し。また、同年の消費量(見込値)は、2,150万トンと平年より微増の見通し。
- 生産地は、南部のメコン川デルタを中心に、北中部、紅河デルタにも分布。冬春作と夏秋作等による二期作により、インディカ種を中心にしつつ、一部でジャポニカ種も栽培。

ベトナムのコメ需給の動向推移

(単位:万トン)

	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
生産量	2,710	2,738	2,667	2,700	2,700
消費量	2,125	2,145	2,150	2,150	2,150

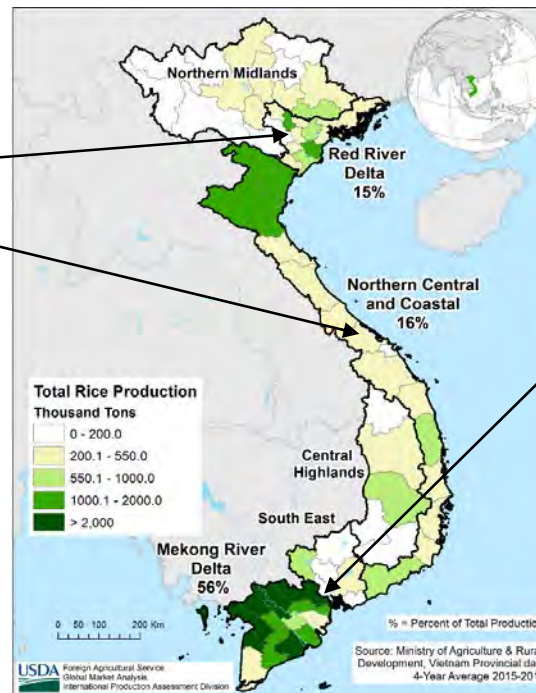
出典:USDA「PS&D(8月)」(穀物年度)

ベトナムにおけるコメの生産地

紅河デルタ地域 15%

中北部沿岸地域 16%

零細農家による自家消費用
が大半で、商業用は少ない。



メコンデルタ地域 56%

ベトナム最大のコメの生産地域。
冬春作と夏秋作等によりベトナムに
おけるコメ総生産の半分以上を占
める。

ベトナム全体では、インディカ種
(長粒種)を中心に生産しているが、
本地域ではジャポニカ種(短粒種)
も一部生産。

タイにおけるコメの生産状況

- 直近の生産量(見込値)は、1,970万トンと平年より微減の見通し。また、同年の消費量(見込値)も同様に1,250万トンと微減の見通し。
- 生産地は、東北部・北部を中心に、中央部にも分布。主要な栽培方法は、雨季作及び乾季作による二期作栽培。

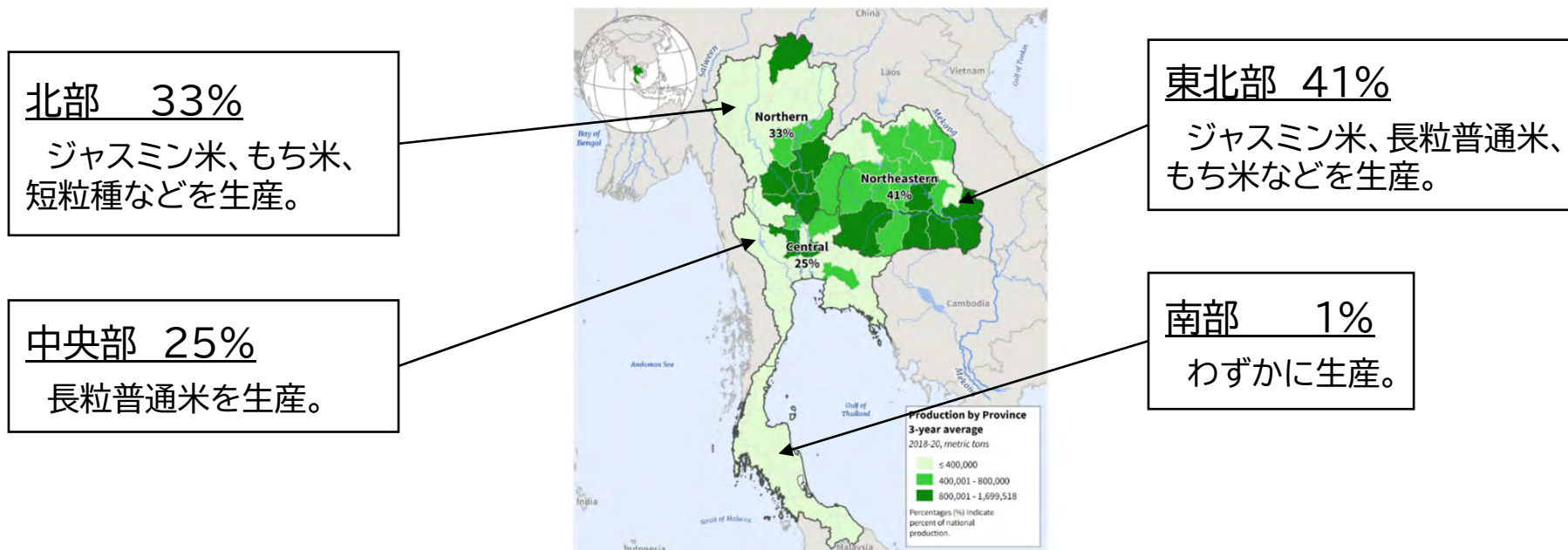
タイのコメ需給の動向推移

(単位:万トン)

	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
生産量	1,766	1,886	1,988	2,020	1,970
消費量	1,230	1,270	1,280	1,280	1,250

出典:USDA「PS&D(8月)」(穀物年度)

タイにおけるコメの生産地



アメリカにおけるコメの生産状況

- 直近の生産量(見込値)は、638万トンと前年より約140万トン近く増加する見通し。また、同年の消費量(見込値)も、492万トンと前年より約16万トン増加する見通し。
- 生産地は、ミシシッピ川流域のアーカンソー州や、ルイジアナ州等で長粒種、カリフォルニア州で中粒種を主に栽培。

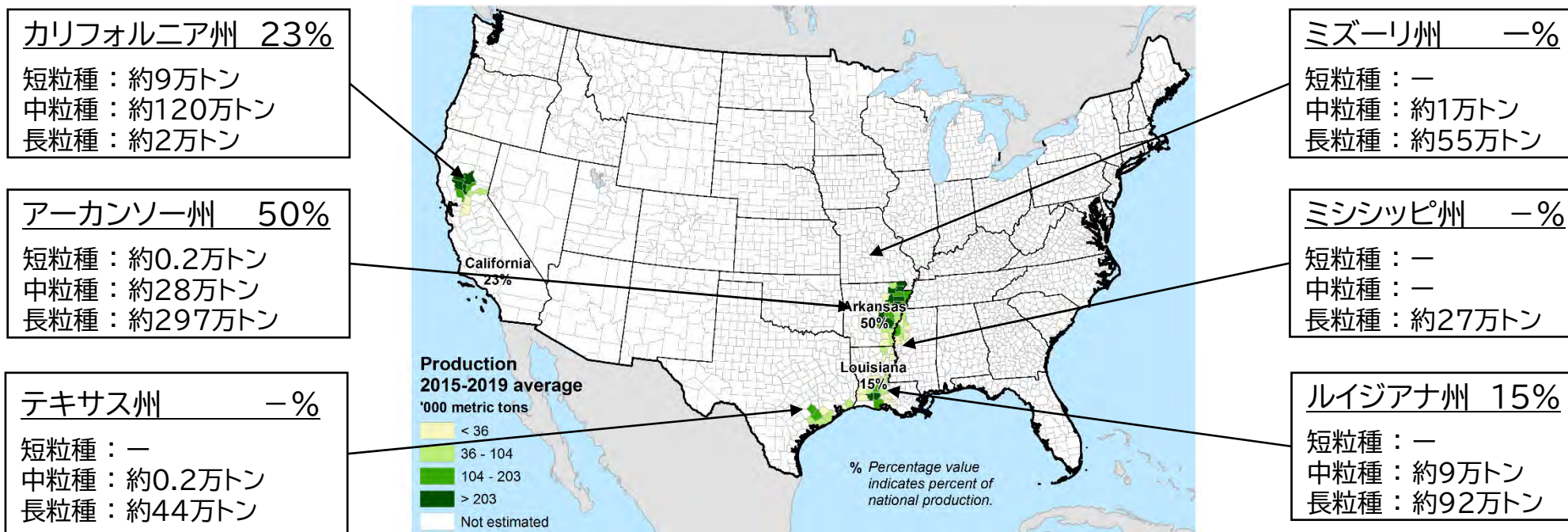
アメリカのコメ需給の動向推移

(単位:万トン)

	2019/2020	2020/2021	2021/2022	2022/2023	2023/2024
生産量	588	722	608	509	647
消費量	459	486	476	476	492

出典:USDA「PS&D(8月)」(穀物年度)

アメリカにおけるコメの生産地



出典(図) :USDA「National Agricultural Statistics Service」
 出典(各州の生産量):USDA「Crop Production Summary 2021」

【利用上の注意】

食料安全保障月報は、国際穀物需給に関し、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC 等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

○ 本月報に記載のない情報は以下を参照願います。

（１） 農林水産省の情報

ア 我が国の食料需給表や食品価格、国内生産等に関する情報

- ・ 食料需給表：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/>
- ・ 食品の価格動向：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/index.html>
- ・ 米に関するマンスリーレポート：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

イ 中・長期見通しに関する情報

- ・ 食料需給見通し（農林水産政策研究所）：<http://www.maff.go.jp/primaff/seika/jyukyu.html>

（２） 農林水産関係機関の情報（ALIC の情報サイト）：<https://www.alic.go.jp/>

- ・ 砂糖、でんぷん：<https://www.alic.go.jp/sugar/index.html>
- ・ 野菜：<https://www.alic.go.jp/vegetable/index.html>
- ・ 畜産物：<https://www.alic.go.jp/livestock/index.html>

（３） その他海外の機関（英語及び各国語となります）

ア 国際機関

- ・ 国連食糧農業機関（FAO）：<https://www.fao.org/home/en>
- ・ 国際穀物理事会（IGC）：<https://www.igc.int/en/default.aspx>
- ・ 経済協力開発機構（OECD）（農業分野）：<https://www.oecd.org/agriculture/>
- ・ 農業市場情報システム（AMIS）：<http://www.amis-outlook.org/>

イ 各国の農業関係機関（代表的なものです）

- ・ 米国農務省（USDA）：<https://www.usda.gov/>
- ・ ブラジル食料供給公社（CONAB）：<https://www.conab.gov.br/>
- ・ カナダ農務農産食品省（AAFC）：<https://agriculture.canada.ca/en/sector/crops/reports-statistics>
- ・ 豪州農業資源経済科学局（ABARES）：<http://www.agriculture.gov.au/abares>

○ 食料安全保障月報で使用している統計数値は、主に米国農務省が 2023 年 8 月中旬までに発表した情報を引用しています。（最新年度 2023/24 年度です）

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されます**ので留意してください。
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。
<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>
(注：同サイトの「Reference Data」を参照)
- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差になります。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「食料安全保障月報」）を併記願います。

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

ロシアが占領しているウクライナのクリミアの生産量については、米国農務省はウクライナとして集計しています。

- 本月報の電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 食料安全保障月報

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL : 03-6744-2368 (直通)
------------	--

「食料安全保障月報」に関するアンケート

いつも食料安全保障月報（以下、「月報」）を御愛読いただきありがとうございます。
今後のより良い月報の作成に生かすため、皆様の声を是非お聞かせください。

- 1 あなたの所属を教えてください。（選択式）
商社、食品・飼料メーカー、食品卸・小売業、調査会社、自治体、大学・研究機関、大学生・高校生、その他
- 2 あなたの所属する会社・組織が所在する地域を教えてください。（選択式）
北海道、東北、関東（東京以外）、東京、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄、海外
その他
- 3 月報をどこで知りましたか。（選択式）
口コミ、以前から（海外食料需給レポート時代から）、検索エンジン、農水省 HP、
書籍、その他
- 4 月報を書籍で知った場合、その書名が分かれば教えてください。
- 5 月報で一番関心／参考にしている項目は何ですか。（複数選択可）
概要編（今月の主な動き（穀物等の国際価格の動向）、今月の注目情報、その他）
品目別需給編（小麦、とうもろこし、コメ、油糧種子（大豆））
特別分析トピック
- 6 月報で一番関心／参考にしている項目のうち、特別分析トピックを選択された場合、特に関心があったテーマがあれば教えてください。
- 7 最近で最も興味を引いた／役立った記事は何ですか。（自由記載）
- 8 今後重点的に取り上げてほしいテーマは何ですか。（自由記載）
テーマ例：世界的な異常気象（干ばつ、洪水など）の穀物生産への影響
地域別の穀物需給動向（米国、南米、豪州、東南アジア等）
中国の需要・輸入動向
- 9 特別分析トピックで取り上げてほしいテーマは何ですか。（自由記載）
- 10 今後月報に期待することはありますか。（自由記載）



ご回答は以下 URL または右の QR コードよりアクセス願います。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/anpo/anpo_geppou_ankeeto.html